

I 令和3年度（一社）美しい伊豆創造センター事業報告

1. 会議等の開催に関する事項

○総会の開催

6月1日（火）（一社）美しい伊豆創造センター臨時社員総会（書面決議）

議案第1号 （一社）美しい伊豆創造センター役員（理事）の選任について

6月28日（月） 第5回（一社）美しい伊豆創造センター一定時社員総会（修善寺総合会館）

議案第1号 令和2年度（一社）美しい伊豆創造センター事業報告及び計算書類の承認について

報告第1号 令和3年度（一社）美しい伊豆創造センター事業計画及び収支予算について

1月24日（月）（一社）美しい伊豆創造センター臨時社員総会（三島市民文化会館大会議室）

議案第1号 （一社）美しい伊豆創造センター役員（理事）の選任について

議案第2号 （一社）美しい伊豆創造センター会員入会基準に関する規程の改正について

議案第3号 （一社）美しい伊豆創造センター会費規程の改正について

3月28日（月）（一社）美しい伊豆創造センター臨時社員総会（修善寺総合会館）

議案第1号 （一社）美しい伊豆創造センター役員（理事）の選任について

議案第2号 （一社）美しい伊豆創造センター定款の改正について

○理事会の開催

5月13日（木）（一社）美しい伊豆創造センター理事会（書面決議）

議案第1号 （一社）美しい伊豆創造センター役員候補について

議案第2号 （一社）美しい伊豆創造センター臨時社員総会の開催について

報告第1号 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第84条に係る取引の報告について

6月7日（月）（一社）美しい伊豆創造センター理事会（三島市役所）

議案第1号 （一社）美しい伊豆創造センター入会申込者の許否について

議案第2号 （一社）美しい伊豆創造センター業務執行理事の選任について

議案第3号 令和2年度（一社）美しい伊豆創造センター事業報告（案）及び計算書類の承認（収支決算）（案）について

議案第4号 （一社）美しい伊豆創造センター一定時社員総会の開催について

報告第1号 （一社）美しい伊豆創造センター企画運営委員会委員長及び副委員長の選任について

12月21日（火）（一社）美しい伊豆創造センター理事会（三島市役所）

議案第1号 （一社）美しい伊豆創造センター顧問の選任について

議案第2号 （一社）美しい伊豆創造センター役員（理事）の推薦について

議案第3号 （一社）美しい伊豆創造センター会員入会基準に関する規程の改正について

議案第4号 （一社）美しい伊豆創造センター会費規程の改正について

- 議案第5号 (一社) 美しい伊豆創造センター臨時社員総会の開催について
報告第1号 令和3年度(一社) 美しい伊豆創造センター事業経過報告について
報告第2号 令和3年度(一社) 美しい伊豆創造センター収支予算の変更について
協議第1号 令和4年度(一社) 美しい伊豆創造センター事業計画(案) 及び収支予算(案)
協議第2号 美しい伊豆創造センターと伊豆半島ジオパーク推進協議会との統合について

3月14日(月) (一社) 美しい伊豆創造センター理事会 (三島商工会議所)

- 議案第1号 (一社) 美しい伊豆創造センター役員の推薦について
議案第2号 (一社) 美しい伊豆創造センター定款の改正について
議案第3号 (一社) 美しい伊豆創造センター臨時社員総会の開催について

3月28日(月) (一社) 美しい伊豆創造センター理事会 (修善寺総合会館)

- 議案第1号 (一社) 美しい伊豆創造センター入会申込者の許否について
議案第2号 (一社) 美しい伊豆創造センター入会申込者の許否について
議案第3号 (一社) 美しい伊豆創造センター副会長の選任について
議案第4号 (一社) 美しい伊豆創造センター顧問の選任について
議案第5号 (一社) 美しい伊豆創造センター組織規則の改正について
議案第6号 (一社) 美しい伊豆創造センター委員会運営規程の改正について
議案第7号 (一社) 美しい伊豆創造センター職員給与規程の改正について
議案第8号 (一社) 美しい伊豆創造センター経理規程の改正について
議案第9号 (一社) 美しい伊豆創造センター退職金規程の改正について
議案第10号 (一社) 美しい伊豆創造センター職員就業規則の改正について
議案第11号 財産の譲受について
議案第12号 令和4年度(一社) 美しい伊豆創造センター事業計画(案)
議案第13号 令和4年度(一社) 美しい伊豆創造センター収支予算(案)
議案第14号 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第84条に係る取引の承認について
議案第15号 (一社) 美しい伊豆創造センター役員の推薦について
議案第16号 (一社) 美しい伊豆創造センター事務局長の任命について
議案第17号 (一社) 美しい伊豆創造センター臨時社員総会の開催について

○委員会の開催

5月26日(水) (一社) 美しい伊豆創造センター企画運営委員会 (オンライン)

- 議案第1号 (一社) 美しい伊豆創造センター入会申込者の許否について
議案第2号 (一社) 美しい伊豆創造センター業務執行理事の選任について
議案第3号 令和2年度(一社) 美しい伊豆創造センター事業報告(案) 及び計算書類の承認(収支決算)(案)について
議案第4号 (一社) 美しい伊豆創造センター定時社員総会の開催について
報告第1号 (一社) 美しい伊豆創造センター企画運営委員会委員長及び副委員長の選任について

12月9日(木) (一社) 美しい伊豆創造センター企画運営委員会 (修善寺総合会館)

- 議案第1号 (一社) 美しい伊豆創造センター顧問の選任について

- 議案第2号 (一社) 美しい伊豆創造センター役員の推薦について
- 議案第3号 (一社) 美しい伊豆創造センター会員入会基準に関する規程の改正について
- 議案第4号 (一社) 美しい伊豆創造センター会費規程の改正について
- 議案第5号 (一社) 美しい伊豆創造センター臨時社員総会の開催について
- 報告第1号 令和3年度(一社) 美しい伊豆創造センター事業経過報告について
- 報告第2号 令和3年度(一社) 美しい伊豆創造センター収支予算の変更について
- 協議第1号 令和4年度(一社) 美しい伊豆創造センター事業計画(案) 及び収支予算(案)
- 協議第2号 美しい伊豆創造センターと伊豆半島ジオパーク推進協議会との統合について

3月18日(金) (一社) 美しい伊豆創造センター企画運営委員会(オンライン)

- 議案第1号 (一社) 美しい伊豆創造センター入会申込者の許否について
- 議案第2号 (一社) 美しい伊豆創造センター入会申込者の許否について
- 議案第3号 (一社) 美しい伊豆創造センター副会長の選任について
- 議案第4号 (一社) 美しい伊豆創造センター顧問の選任について
- 議案第5号 (一社) 美しい伊豆創造センター組織規則の改正について
- 議案第6号 (一社) 美しい伊豆創造センター委員会運営規程の改正について
- 議案第7号 (一社) 美しい伊豆創造センター職員給与規程の改正について
- 議案第8号 (一社) 美しい伊豆創造センター経理規程の改正について
- 議案第9号 (一社) 美しい伊豆創造センター退職金規程の改正について
- 議案第10号 (一社) 美しい伊豆創造センター職員就業規則の改正について
- 議案第11号 財産の譲受について
- 議案第12号 令和4年度(一社) 美しい伊豆創造センター事業計画(案)
- 議案第13号 令和4年度(一社) 美しい伊豆創造センター収支予算(案)
- 議案第14号 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第84条に係る取引の承認について

4月27日(火) 大型観光キャンペーン推進協議会 伊豆地域部会(広域観光事業委員会 実務担当者会議)(修善寺総合会館)

- 報告事項**
- ① 地方創生臨時交付金活用事業について
 - ② 令和2年度静岡県大型観光キャンペーン推進協議会伊豆地域部会決算(案)について
 - ③ 静岡県大型観光キャンペーン推進協議会伊豆地域部会規約の一部改正(案)について
 - ④ 令和3年度静岡県大型観光キャンペーン推進協議会伊豆地域会議予算(案)について
 - ⑤ 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を契機とした観光振興の取組について
 - ⑥ 今後の事業・スケジュールについて

9月16日(木) 大型観光キャンペーン推進協議会 伊豆地域部会(広域観光事業委員会 実務担当者会議)(オンライン)

- 報告事項**
- ① 河津バガデル公園展示及び夏の旅観光展 IN 大宮駅2021等について
 - ② 楽天チェックインラリー及び伊豆半島うまいもん市の実施について
 - ③ 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を契機とした観光振興の取組について
 - ④ 今後の事業・スケジュールについて

⑤ インバウンド事業について

1 1月2日(火) 大型観光キャンペーン推進協議会 伊豆地域部会(広域観光事業委員会
実務担当者会議) (修善寺総合会館)

- 報告事項 ① 伊豆美味しいもん市(JR東京駅)について
② JR東日本重点販売キャンペーンに向けたカウントダウン企画の実施について
③ 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を契機とした観光振興の取組について
④ 今後の事業・スケジュールについて
⑤ インバウンド事業について

1 2月7日(火) (一社)美しい伊豆創造センター広域観光事業委員会 (修善寺総合会館)

- 報告第1号 令和3年度(一社)美しい伊豆創造センター 事業経過報告について
報告第2号 令和3年度(一社)美しい伊豆創造センター 予算の変更について
協議第1号 令和4年度(一社)美しい伊豆創造センター 事業計画(案)及び収支予算(案)
について
協議第2号 (一社)美しい伊豆創造センターと伊豆半島ジオパーク推進協議会の統合に係る
定款、規則等の改正及び臨時社員総会における審議予定議案について

1 1月26日(水) 大型観光キャンペーン推進協議会 伊豆地域会議(広域観光事業委員会
実務担当者会議) (修善寺総合会館)

- 報告事項 ① ふるさと観光展IN仙台駅2021及び伊豆半島うまいもん市等について
② JR東日本重点販売キャンペーンに向けたカウントダウン企画について
③ 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を契機とした観光振興の取組について
④ インバウンド事業について
⑤ 今後の事業・スケジュールについて

3 3月14日(月) (一社)美しい伊豆創造センター広域観光事業委員会(オンライン)

- 協議第1号 令和4年度(一社)美しい伊豆創造センター 事業計画(案)及び収支予算(案)
について
協議第2号 (一社)美しい伊豆創造センター 伊豆半島ジオパーク推進協議会との統合に
ついて
協議第3号 統合後の会費について

2. 伊豆半島観光戦略推進(DMO)事業に関する事項

(1) 伊豆半島観光戦略推進(DMO)事業

○事業概要及び成果等

伊豆半島の観光消費額拡大を図るため、調査・研究を通じた地域の課題抽出、新しい観光コンテンツの創出・流通促進や関係者の合意形成や地域のおもてなし気運醸成など中期的な取組による課題解決を図っていくことを目的とする。

○事業実施状況

①伊豆半島観光戦略推進（DMO）事業

令和2年4月、DMOの登録制度に関するガイドラインが改正され、登録要件の厳格化とともに、更新登録制度及び登録の取消制度が導入された。

美しい伊豆創造センターは本年度、更新登録対象DMOであったため、6月に観光地域づくり法人（DMO）形成確立計画を観光庁に提出した結果、登録が更新された。

②観光コンテンツ商品開発・販売促進事業

伊豆半島ジオパークを中心とした地域の魅力的なコンテンツを活用した商品（プログラム）開発を行い、観光消費の受け皿づくりを進めた。

様々な手法を用いた開発商品（プログラム）の流通促進を通じ、観光交流客数拡大による観光消費額の最大化を図った。

事業名	概要
静岡県教育旅行説明会（県内、長野県、山梨県）	首都圏や京都・奈良からの修学旅行先変更を検討する静岡県、長野県及び山梨県の小中学校対象の静岡県主催の教育旅行説明会にプレゼンターとして参加。（7/7, 7/26, 9/16, 9/17） 域内の教育旅行受入情報やジオ教育旅行プログラムのセールスを実施した。
南アルプスユネスコエコパークとの連携セールス	南アルプスユネスコエコパーク事務局である北杜市との連携や教育旅行誘致を目的としたジオ教育プログラムセミナー、実地研修の設定に向けた協議を行い、北杜市内の中学校に出向いてジオ教育プログラムの模擬授業を実施した。（6/2, 10/15, 10/25）
教育旅行エージェントセールス	教育旅行を取扱う大手旅行会社（JTB静岡県及び山梨県の各支店）を対象に域内の教育旅行受入情報やジオ教育旅行プログラムのセールスを実施した。（7/1, 7/12, 7/13）

③人材育成の研修会の実施事業

事業名	概要
日本大学国際関係学部講座「伊豆観光文化論 2021」	外部講師として「伊豆半島の観光動向と美しい伊豆創造センターの取組」をテーマに、伊豆への来訪者の変化や箱根との対比をベースに、DMOとしての役割について講演した。（5/20）

④観光事業者採用支援事業

首都圏の優秀な若手人材の確保を目的とし、東京都内において伊豆半島ホテル温泉旅館合同企業説明会を開催した。また、県内及び首都圏の学校、関係団体と伊豆半島宿泊事業者との調整を行った。

事業名	概要
伊豆半島ホテル温泉旅館合同会社説明会	東京都内において対面での説明会を開催した。 日 程：令和4年3月9日(水)

事業名	概要
	会場：東京都立産業貿易センター台東館5階 出展事業者：10社 対象：令和5年3月卒業予定の大学生、短大生、専門学校生 来場学生：27校49名、ブース延べ来場数172名
インターンシップ・会社説明会等	県内及び首都圏の学校、関係団体より希望があり、下記のとおり伊豆半島宿泊事業者との調整を行った。 『専門学校日本ホテルスクール「合同会社説明会&選考会」』（7/15, 16, 19） 『しずおか人材確保サポートデスク主催 伊豆のお仕事発見バスツアー』（10/31）

⑤サイクルツーリズム調査事業

伊豆半島内のサイクル関係の現状の把握調査を実施するとともに、東京オリンピック・パラリンピック終了後の事業展開の方向性について、関係者と協議のうえ、行動計画を策定した。

事業名	概要
サイクリングリゾート伊豆計画の総括及び行動計画策定	<ul style="list-style-type: none"> ・「サイクリングリゾート伊豆基本計画」の総括 ・域内のサイクル関係の現状把握の調査 ・行動計画の策定

⑥デジタルマーケティング推進事業

県伊豆観光局の委託により作成したデジタルスタンプラリーシステムの運用を行うとともに、伊豆半島内での活用を促し、データ収集を図った。

1月から放映されている大河ドラマに関連したデジタルスタンプラリーの実施により、参加者の属性情報（年代・性別・居住地、旅行消費額、旅行行程）を取得・分析し、調査結果を会員へ情報提供した。

事業名	概要
デジタルスタンプラリーシステムの運用	県伊豆観光局の委託により作成したデジタルスタンプラリーシステムを運用し、伊豆半島内で利用してもらうことにより、半島内の周遊を促進するとともに、データ収集を行った。 システムのアップデートが行われたことによる改良点等について県伊豆観光局と連携し、美伊豆会員に対しWEBスタンプラリーのシステム説明会を実施し、システムの周知を図った。(5/14)以下、本年度のシステム使用実績。 <ul style="list-style-type: none"> ・第9回みしま花のまちフェア～花めぐりスマホ de スタンプラリー(三島市、5/17～5/30) ・リゾート 21「キンメ電車」リニューアル記念！デジタルスタンプラリー(伊豆急行、7/1～8/31)

事業名	概要
	<ul style="list-style-type: none"> ・みしまコロッケデジタルスタンプラリー(三島市、8/1～8/20) ・試合×観光で楽しもう!「アロメン」と巡るスタンプラリー(三島市、11/26～2/28) ・北条氏・源氏ゆかりの13の地を巡るデジタルスタンプラリー(駿豆線活性化協議会、12/1～2/28) ・旬を楽しむデジタルスタンプラリー(伊豆箱根鉄道、12/12～3/13) ・土肥温泉神社仏閣御朱印を巡るデジタルスタンプラリー(伊豆市、1/20～2/6) ・伊豆半島へいざ出陣! デジタルスタンプラリー(美伊豆、1/15～3/31)

⑦ワーケーション推進事業

伊豆半島のワーケーション推進のため、半島内のワーケーションやサテライトオフィスの現状、市町、観光協会及び関係者の意向を調査し、その課題等を把握し、分析結果を加えた概要報告書(レポート)を作成した。加えて、伊豆半島全体でのワーケーションの情報が提供できるよう、WEBサイトを作成した。

「伊豆ワーケーション」 URL : <https://izuwor.k.biz/>

○評価・改善

(1) 令和2年度のDMOの目標達成度評価

年度 K P I	令和2年度 2020年度	令和2年度 2020年度	令和元年度 2019年度	目標比	前年度比
	実績	目標	実績		
旅行消費額	147,139百万	320,643百万	284,015百万	45.9%	51.8%
延べ宿泊者数	5,875千人	12,777千人	10,744千人	46.0%	54.7%
来訪者満足度	98.1%	99.5%	98.9%	-1.4%	-0.8%
リピーター率	68.6%	70.0%	72.7%	-1.4%	-4.1%
Webサイト	27,343PV/月	80,000 PV/月	51,676PV/月	34.2%	52.9%
観光入込客数	23,066千人	51,382千人	43,859千人	44.9%	52.6%

●旅行消費額

延べ宿泊数、観光入込客数とも大幅に減少し、年度計で2019年度比51.8%、2018年比49.2%となった。その中においても、県内宿泊者以外の一人当たり消費支出額は前年度に比較し若干増加している。

●延べ宿泊者数

すべての月において前年比減となった。Gotoトラベル実施により10月、11月は前年比90%まで回復したが、緊急事態宣言が発出された4、5、1、2月は前年50%を下回り、年度計で2019年比54.7%、2018年度比51.9%となった。

●来訪者満足度

「大変満足」の割合については、前年度対比で増加しているが、全体としては、前年度比で0.8ポイント減少した。項目別では、「旅行中の移動」、「情報発信」、「土産物の魅力」の項目が減少している。

●リピーター率

3回目および4回目以上の来訪者の回数の割合が減少し、全体のリピーター率は減少している。

●Webサイトアクセス数

緊急事態宣言が発出された4、5、1、2月は特にPVが減少した。

(2) 令和3年度(2022年度)～令和6年度(2024年度)の設定KPIについて

上記を踏まえ、令和4年度(2022年度)以降のKPI設定を行った。

年度 KPI	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度
旅行消費額	299,050百万	215,131百万円	249,339百万	284,356百万
延べ宿泊者数	11,322千人	8,295千人	9,505千人	10,715千人
来訪者満足度	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%
リピーター率	67.0%	67.0%	67.0%	67.0%
Webサイト	80,000PV/月	90,000 PV/月	100,000 PV/月	100,000 PV/月
観光入込客数	46,463千人	32,662千人	37,460千人	42,258千人

(評価)

- ・観光地域づくり法人として、会員への情報提供を行ったが、組織の活動が十分に認知されていないなどの課題が残ったため、更なる情報提供や連携が必要である。また、令和3年度は、伊豆半島ジオパーク推進協議会との統合後の体制を整備したため、令和4年度以降は、伊豆半島ジオパークの魅力を最大限活用した取組の推進が必須である。
- ・伊豆半島ホテル温泉旅館合同会社説明会については、コロナウイルス感染症拡大の影響により、まん延防止等重点措置期間中の開催となったが、計49名、延べ人数172名の学生が参加し、学生の参加規模としては前々年度実施の都内開催の説明会と同等の結果となった。
- ・デジタルマーケティング推進については、主に「伊豆半島へいざ出陣！デジタルスタンプラリー」を利用して来訪者の年代、居住地、旅行消費額、アクセス元の広告等の情報収集及び分析を図ったが、コロナ禍の移動制限の影響を受けた上での結果となっており、平時とは違った特殊な状況下におけるマーケティング資料となる。そのため、今後コロナが収束に向かった場合、結果は違ってくるのが予想される。

(改善)

- ・観光地域づくり法人として、また、伊豆半島グランドデザインの推進組織として、観光関係者、商工会議所、商工会、交通事業者、宿泊事業者など多種多様な関係者との情報共有や連携を密にできる体制を整備する。また、伊豆半島ジオパークの魅力を活かした

取組を推進していく。

- ・伊豆半島ホテル温泉旅館合同会社説明会については、過去最大の97名のエントリーがあったが、実際の参加は49名と、参加率は約5割であった。イベントを広く周知することとともに、開催時期や方法についても改めて検討し、いかに学生の参加率を上げていくかが、今後の課題である。
- ・デジタルマーケティングにおいては、類似した調査を回（年）数重ね、継続的な実施することで得られる分析結果とデジタルスタンプラリー等とは全く別の手法による調査結果から得られる指標のそれぞれが重要と思われる。当センターのみで結果を活用するには限界があるため、広く伊豆半島の事業者へ分析結果を提供し有効活用していただくことが今後の課題である。
- ・ワーケーション推進事業については、当該地域の課題等を把握し、分析結果を加えた概要報告書を活用し、伊豆半島におけるワーケーションの取組を後押し関係人口増加による、移住・定住の促進を図っていくことが課題である。

3. 国内観光キャンペーン事業に関する事項

(1) 国内観光キャンペーン事業

○事業概要及び成果等

伊豆半島域内の市町、観光協会、交通事業者等と連携し、伊豆の主要マーケットである首都圏等の観光キャンペーンに出展し、地域外へ伊豆の魅力をPRした。

併せて、静岡県観光協会と連携し、各市町の観光商品シート作成、集約に努めるとともに、造成した観光商品について、静岡県観光協会及び交通事業者等と連携したエージェントセールスを積極的に実施し、継続した観光交流プロモーションを実施した。

○事業実施状況

①国内観光キャンペーン事業

コロナ禍で移動制限が課される中での実施であったが、観光展への出展2ヶ所、伊豆物産展における観光PR4ヶ所、観光キャンペーンの実施2ヶ所等の事業を実施した。

事業名	概要
河津バガデル公園 伊豆13市町周遊促進展示 (河津町)	河津バガデル公園と美伊豆の共同企画として、来園者の周遊促進を目的として実施した。(5/8~6/30) 伊豆半島内の市町、観光協会、交通事業者のポスターの展示及びパンフレットを配布した。 5/18の伊豆日日新聞に記事が掲載された。
東日本広域観光展 IN大宮駅2021 (JR大宮駅)	県観光協会と連携し、日本観光振興協会関東支部・東北支部及び東北DC推進協議会共催の観光展に参加した。 ポスターの展示、伊豆半島13市町及び交通事業者のパンフレット合計約2,000部を配布し、併せて伊豆の特産品が当たるステージイベントを実施するなど観光PRを実施した。(6/25~6/27)

事業名	概要
JTBイオンモール甲府昭和店観光キャンペーン「伊豆フェア」への支援（山梨県）	JTBイオンモール甲府昭和店から提案を受け、同店舗内で行う「伊豆フェア」への支援を実施した。(6/27~8/13) ①ポスターの掲出（6部） ②伊豆総合パンフレットの配布 ③宿泊成約時にノベルティ（パリパリメロン最中）の提供（15組50名）
伊豆美味しいもん市（JR東京駅 グラスタ東京 地下1階「スクエアE」）	JR東日本小田原地区センターと連携し、伊豆美味しいもん市に参加。伊豆の魅力を伝える観光VR体験を実施し、約100人が体験した。また、ご当地キャラクター「いずきゅん」と共に伊豆の観光PRを実施した。市町、観光協会、交通事業者のパンフレットは、3日間合計で約2,000部配布し、併せて、ノベルティとして熱海温泉の素を300部配布した。(10/22~10/24)
ふるさと観光展IN仙台駅2021（JR仙台駅）	県観光協会と合同でブースを出展し、13市町、交通事業者及び全県パンフレットの合計約4,000部を配布した。合わせて、ノベルティとして、熱海温泉及び伊豆長岡温泉の素を配布した。また、県観光協会と合同で、阪急交通社、びゅうトラベルサービスなど東北地方のエージェント4社を訪問し、本年度リニューアルした観光施設、日程が変わった河津桜まつりの情報及び大河ドラマ関連などを中心にセールスを実施した。(11/17~19)
伊豆産直市（JR上野駅、JR武蔵溝口駅、JR横浜駅）	JR東日本横浜支社と連携し、伊豆産直市に参加。ご当地キャラクター「いずきゅん」と共に伊豆の観光PRを実施した。市町、観光協会、交通事業者のパンフレットは、3会場合計で約6,000部配布した。(JR上野駅1/20~1/22)(JR武蔵溝口駅2/9~2/11)(JR横浜駅3/25~3/27)
JTB首都圏・関西圏店舗における伊豆ミニコーナーの設置	2月~3月首都圏のJTB約50店舗で河津桜と大河ドラマ関連ポスター及びパンフレットを配架した伊豆ミニコーナーを設置いただいた。また、3月~GWにかけて関西圏のJTB約60店舗で大河ドラマと沼津・三島関連のポスターやパンフレットを配架した伊豆ミニコーナーを設置いただいた。

②伊豆総合パンフレット増刷

大手旅行会社等では紙パンフレット削減の動きが加速している一方で、実店舗においては空きスペース（パンフレットラック）の有効活用が課題となっている。当初の想定より、旅行会社からの引き合いが多かったため、スケジュールを前倒しして増刷を行った。

事業名	概要
伊豆総合パンフレット「CHOITAS伊豆」増刷	昨年度、大幅にリニューアルした伊豆総合パンフレット「CHOITAS伊豆」を、伊豆半島域内の観光客の誘客促進を図るため、20,000部増刷し、要望のあった観光施設等に配布した。(7/27)

③大河ドラマ「鎌倉殿の13人」ゆかりの地推進事業

- ・令和4年1月9日から放送が開始された大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に向けて、当センターでは機運醸成、新規顧客獲得、回遊促進の3つを柱として事業に取り組んだ。
- ・機運醸成施策として「ラッピングトレイン、ラッピングバス」の運行、新規顧客獲得施策として「首都圏交通媒体における露出強化」、回遊促進施策として、大河ドラマ館と伊豆半島観光施設等の「相互割引企画」及び「WEBスタンプラリー」など、を実施した。併せて、県の広域協議会や伊豆の国市推進協議会等と連携した取組を実施した。

事業名	概要
大河ドラマ「鎌倉殿の13人」関連キャラクター22体の作成・会員への提供	大河ドラマの機運醸成や誘客促進を目的とした各種取組に使用するため、登場人物をイメージしたキャラクター（イラスト）を作成し、会員宛てに送付した。 7月28日：9体 10月6日：13体（計22体）
鎌倉市への訪問（鎌倉市役所）	NHK大河ドラマの舞台地交流として、伊豆半島関係者が鎌倉市長、鎌倉市観光協会長、鎌倉商工会議所長と情報交換を行った。伊豆の国市長、伊豆の国市観光協会長、伊豆の国市商工会長、美伊豆会長、伊豆観光局長が訪問した。（10/5）
伊豆重点販売期間 首都圏 AGT セールス（首都圏各 AGT）	JR 東日本の重点販売セールスに同行し、JR 東日本からサフィール踊り子号モニターツアーなどの説明、美伊豆から伊豆の観光素材及び大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に向けた施策などを説明した。クラブツーリズム、近畿日本ツーリスト、東武トップツアーズ、びゅうトラベルサービス、日本旅行、阪急交通社、JTB の7社を訪問した。（10/5、10/6、10/7、10/18、10/20、11/18、11/19）
サフィール踊り子・伊豆エリア観光素材の説明会（伊豆急下田駅・下田東急ホテル）	JR 東日本横浜支社より「湯どき 花どきキャンペーン」の目玉企画などの説明や「サフィール踊り子」の車内見学を実施した。併せて、美伊豆より伊豆の観光素材及び大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に向けた施策などを説明した。クラブツーリズム、阪急交通社の2社が参加した。（11/11、11/12）
伊豆半島へいざ出陣！デジタルスタンプラリーの開催	1/15～3/31 まで相互割引対象施設及び河津桜まつり、みなみの桜と菜の花まつり、ららぽーと沼津、JR 鎌倉駅の合計 32 カ所にチェックポイントを設定したデジタルスタンプラリーを開催した。参加者 1,489 名、総スタンプ（施設訪問者）数 2,728 個（人）アンケート回答者 514 名、参加者平均 1 人当り消費額 42,748 円参加者全員の消費額計 63,249,742 円（推計）
鎌倉殿の13人 伊豆の国 大河ドラマ館と伊豆の観光施設の間での相互割引の実施	誘客と周遊促進及び大河ドラマと関連性の薄い施設も巻き込んで相乗効果を発揮させるため、鎌倉殿 13人 伊豆の国 大河ドラマ館の開館期間中の令和4年1/15～令和5年1/15まで実施。令和4年1/15～3/31までの延べ利用実績は大河ドラマ館550名、その他観光施設607名（※回答があった16施設（全29）集計）

（評価）

- ・コロナ禍の移動制限の影響を強く受けた1年だったため、例年と比較して県内や域内などのマイクロツーリズムを意識した取組に比重を置いて実施した。
- ・移動制限が解除された期間を見計らって首都圏を中心に積極的なプロモーションが実施出来たと考える。団体ツアーの回復が見込まれなかったため、国内観光キャンペーン事業、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」ゆかりの地推進事業ともにリテール店舗でのキャンペーンやデジタルスタンプラリー、相互割引など個人誘客を主とした取組を重点的に実施した。

(改善)

- ・近年、伊豆への旅行形態は従来型の団体ツアーから小規模、個人向け、滞在型旅行へ徐々に移行しつつあったが、コロナ禍を経て急速に進行している。
- ・様々な環境の変化へ柔軟に対応するため、従来型のプロモーションでは時代の変化から取り残されてしまうため、より効果的な手法へ模索しながら進化させていく必要がある。

4. インバウンド（海外プロモーション）事業に関する事項

(1) インバウンド（海外プロモーション）事業

○事業概要及び成果等

渡航制限解除後、最も早く訪日インバウンドが回復することが見込まれる台湾をメインターゲットに設定し、各種施策を実施した。

海外に向けた伊豆半島情報発信や東京 2020 オリンピック・パラリンピックに合わせた誘客、海外旅行会社等を招聘してのファミトリップを通じた旅行商品開発などを予定していたが、新型コロナウイルス感染の影響により、一部事業について実施中止又は延期を余儀なくされた。

○事業実施状況

①東京オリンピック・パラリンピックでの観光PR事業

東京 2020 オリンピック・パラリンピックに合わせて来日する取材メディアに対し、JNTO（日本政府観光局）が設置する東京都メディアセンター（TMC）を通じて伊豆半島の観光情報PRを実施する計画であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、事業内容を大幅に変更した。

事業名	概要
メディアツアー事業	訪日メディアを対象とした、メディアツアー（5コース、全13日間）の催行を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、JNTOがツアー参加募集を中止したことに伴い、事業を中止した。
TMCブースでの観光PR事業	TMCにて、職員による伊豆半島観光PR実施を予定（8/27・28）していたが、TMCスタッフに新型コロナウイルスの感染者が発生したことにより、JNTO側から職員参加不可の申し入れがあったため、職員派遣を中止。ブース運営をTMCスタッフに委託し、パンフレット配布及びポスター掲示のみ行った。

事業名	概要
	ブース出展期間中の来訪者数：159名（2日間合計）
TMC特設サイトでの観光PR事業	TMCがメディア向けに設置した特設サイトへ伊豆半島観光PR動画（植松専務理事による英語スピーチ）を掲載した。当該動画を閲覧した中国旅行会社「Travel Daily China」より、取材申し込みあり。 このほか、県空港振興課と連携して取材対応を行った。

②情報発信事業

- ・海外への渡航が困難であることを鑑み、県地域外交課の海外事務所と連携した情報発信（現地旅行展でのPR、ネットニュース配信等）や駐日外国人を対象とした展示会での観光PRを実施した。
- ・台湾に向けた伊豆半島PRのため、繁体字のウェブサイト及び伊豆半島マップを制作した。

事業名	概要
伊豆半島総合MAP作成（繁体字）	台湾に向けた情報発信に活用するため、伊豆半島ジオパーク推進協議会との協働により作成した、伊豆半島総合MAP（日本語・英語）の繁体字版を作成した。
繁体字ウェブサイト制作事業	台湾に向けた情報発信のため、繁体字版の伊豆半島観光情報ウェブサイトを制作した。 (URL) https://b-izu.com/zh-hant/
伊豆半島海外向けプロモーション事業	<ul style="list-style-type: none"> ・英語圏における伊豆地域の認知度向上を図るため、動画広告等によるプロモーションを実施した。 (実績) 動画視聴回数：1,386,878回 クリック数：23,075回 ・英語版SNSアカウントを開設し、積極的な情報発信を実施した。 (実績) 投稿回数：30回 フォロワー数：3,060人（2月開設）
市場調査及びコンサルティング事業	JNTO（日本政府観光局）の会員登録を行い、訪日旅行者の動向に関する報告書等の提供を受けるとともに、各国担当者及び情報発信担当者によるヒアリングや助言を受けた。

事業名	概要
EXPAT EXP O TOKYO 2021 出展事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐日外国人を対象とした展示会にて、TSJ・するが企画観光局との共同ブースを出展した。(11/5・6) ブースにおいては、TSJ 戦略アドバイザー Tony Everitt 氏 (Hike Hakone Hachiri 合同会社) による、熱海を拠点とした伊豆半島ツアーや Merida X base の E-bike レンタルを活用したツアー紹介を行った。・熱海で発生した ・ 土砂災害の復興支援として、ステージイベントにて熱海観光を題材としたプレゼンテーションを実施した。
静岡県海外事務所連 携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 台湾事務所に対し、現地観光展で活用するためのパンフレットやノベルティ等を提供した。 ・ 台湾事務所が実施するネットニュース配信事業に対し、全 10 回の記事を提供し、台湾における伊豆半島の認知度向上を図った。 ・ 台湾事務所が実施する卓上カレンダー制作事業に対し、伊豆半島の観光スポットの画像を会員市町から収集して提供した。 ・ ソウル事務所が実施する韓国におけるわさび PR に活用するためのノベルティ等を提供した。 ・ ソウル事務所公式 SNS のための取材について、取材先の選定及び調整、取材への同行を行った。

③旅行商品開発事業

- ・ 海外市場に対して訴求力を有する旅行商品を開発するとともに、海外大手 OTA と連携することで当該商品の海外向け販路の整備を図った。
- ・ TSJ や静岡県海外事務所と連携して、ファミトリップの受け入れ等を通じた伊豆半島旅行商品の開発を行った。

事業名	概要
台湾VIP招聘事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐日台湾高官等(台北駐日経済文化代表處横浜分處長、台湾観光協会東京事務所長)を招聘し、台湾富裕層に向けた旅行商品造成を図った。 ・ 各首長との面談を設定し、各種情報交換及び伊豆半島PRを実施した。
OTA連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伊豆半島旅行商品の海外向け販路を整備することを目的として、台湾に本社を置く、アジア最大級のOTA“KKday”と包括的連携協定を締結した。 ・ KKday プラットフォームへの商品掲載数を増やすため、KKday と連携して、伊豆地域の観光施設等に対するセールスを実施した。
富裕層向け旅行商品 開発	<p>台湾富裕層を対象とした旅行会社と連携し、インバウンド再開時に向けたツアーコースの設定及び視察を実施した。</p>

事業名	概要
ガストロノミーツアーリズム商品造成事業	欧州向けの訪日ガストロノミーツアーリズム商品を販売する旅行会社と連携し、伊豆地域の食をテーマにしたツアー商品の造成を図った。
英国向け旅行商品造成事業	TSJ と連携し、主に英国市場を対象としているランドオペレーターを招聘したファムトリップを実施した。
静岡県インバウンド旅行商品商談会	静岡県観光協会が主催するランドオペレーターを対象としたオンライン商談会に参加（2/3）
台湾における静岡県観光オンライン商談会	静岡県台湾事務所主催の訪日旅行会社を対象としたオンライン商談会に参加（3/15）

④その他の取組

事業名	概要
インバウンド担当者会議 (オンライン開催)	各市町のインバウンド担当者に対し、事業実施状況の報告及び予定を説明した。(9/29) ※当初、インバウンドセミナーと合わせてリアル開催する予定であったが、緊急事態宣言措置の影響により、セミナーを延期するとともにオンライン開催へ変更した。
インバウンド事業研修 (修善寺総合会館)	希望会員に対し、台湾市場に関するセミナーを開催した。(11/18) セミナータイトル：「“おもてなし”の盲点と落とし穴 ～台湾のお客様から嫌われていませんか？」 講師：林田常務理事 参加者数：28人

○評価・改善

(評価)

- ・アジア最大級のOTAである“KKday”と包括的連携協定を締結することにより、観光商品の海外向け販路の整備を図った。
- ・台湾富裕層を対象としたツアー造成のため、台湾政府高官を対象としたファムトリップを実施した。当該ファムトリップにより駐日台湾政府機関との関係性が強化され、その後の台北駐日経済文化代表處の謝代表（駐日大使に相当）の伊豆訪問等へつなげる事ができた。
- ・誘客対象である台湾に向けた情報発信ツールとして繁体字ホームページを開設。CMS を実装することにより、能動的な情報発信が可能な環境を整備した。
- ・台湾市場向け商談会等で活用するための繁体字マップを制作した。

- ・ポストコロナを見据え、今後需要が高まると予想される少人数かつ高単価な旅行商品の造成を目的としたファムトリップを実施した。
- ・ガストロノミーツーリズム等、明確にテーマを設定した旅行商品造成を図った。
(改善)
- ・富裕層向け旅行商品の造成に際し、移動手段(ハイグレード車両、鉄道個室)の確保等、ハード面での運用に課題が残った。
- ・外国人旅行者に対応可能なガイドの安定的な確保に課題が残った。

5. HP管理及び情報発信強化事業

(1) HP管理及び情報発信強化事業

○事業概要及び成果等

総合観光情報サイト「ゆうゆうネット伊豆」のリニューアルを図るとともに、13市町の観光ホームページと連動した周遊ルート案内サービスの導入やSNSを活用し、情報発信強化に取り組んだ。

○事業実施状況

①観光情報プラットフォーム構築事業

美伊豆ウェブサイトと13市町の観光サイトに周遊ルート案内サービスアプリ「Japan Concierge」を導入し、旅行前・滞在中の観光情報収集の満足度を向上し、伊豆半島内の周遊を促進した。

事業名	概要
周遊ルート案内サービス「Japan Concierge」の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度未導入の9市町へ周遊ルート案内サービスアプリ「Japan Concierge」の導入を行った。沼津市、熱海市、伊東市、下田市、西伊豆町は市町サイトへ組み込み、システム等の理由により導入が困難な東伊豆町、南伊豆町、松崎町、函南町は美伊豆新サイトへモデルコースの掲載を行った。 ・既存のサイトへの導入のため、UIの改善など、ユーザーが使いやすいような改修を行った。 ・タイムテーブル表示と複数日対応、Google マイビジネス対応の機能拡張を実施した。

②SNS等を活用した情報発信事業

InstagramやTwitterなどのSNSを活用し、F1層をターゲットとした効果的な情報発信を実施した。

事業名	概要
SNSプロモーション	<p>主に若年層をターゲットにしたプロモーションを行うとともに、Instagram及びTwitterにおいてプレゼントキャンペーンを実施し、フォロワー数を大幅に伸ばした。</p> <p>【キャンペーン第1弾】(10/15~11/15)</p>

事業名	概要
	Instagram：寿太郎みかんセット Twitter：Amazon ギフト券 【キャンペーン第2弾】 （3/7～3/21） Instagram：BonBonBERRY セット Twitter：Amazon ギフト券 最終フォロワー数（3/25 時点） Instagram：9,689 人（約 3,200 人増） Twitter：14,826 人（約 5,300 人増）

③HP管理事業

事業名	概要
伊豆半島観光情報サイトリニューアル事業	スマートフォンの普及やSNS利用の増加、訪日外国人旅行者のFIT化の加速等の社会情勢の変化に対応するため、観光情報サイト「ゆうゆうネット伊豆」のリニューアルを実施し、伊豆半島の観光情報発信能力を強化した。

○評価・改善

（評価）

- ・令和4年3月に「ゆうゆうネット伊豆」に代わる新たな伊豆観光公式サイト「美伊豆 B-IZU」を立ち上げた。これにより、多言語対応やCMSを活用した能動的な情報発信を行うことが可能となったほか、市町担当者によって編集可能なページを内包し、伊豆地域全体の情報を包括的に掲載することで閲覧者の利便を向上させた。
- ・観光情報プラットフォーム構築事業については、導入が完了し、伊豆半島全体での広域的な情報提供や周遊計画の作成が可能となり、旅前や旅中において、情報を効率的に収集することが可能となった。また、美伊豆ウェブサイトと市町ウェブサイトで重複していたスポットを整理し一元化したことで、統計データを取得できる下地作りができた。
- ・SNSプロモーションについては、フォロワー数が大幅に増加した。旅前の観光情報収集、旅中での観光情報・案内の満足度が低い現状の中、次代の主要顧客層となる若年層の主な検索エンジンであるSNSの情報発信力を強化したことにより、新鮮な情報の随時提供が可能となり、来遊客の情報取得促進、伊豆地域の魅力の認知向上に繋がった。

（改善）

- ・観光情報プラットフォーム構築事業については、システムについての周知を図り、より多くのユーザーに利用してもらう必要がある。また、統計データを取得し、ユーザーの特性を可視化・分析し、マーケティングへの活用を行う。
- ・SNSプロモーションについては、新規フォロワーを多数獲得できたが、エンゲージメント率を伸ばすためにも、継続してより効果的な情報発信をしていく。また、現状の投稿のアルゴリズムに該当しないユーザーにもアプローチするために投稿内容やハッシュタグ設計の見直しを行い、より多くのフォロワーを獲得する。

6. 来遊客周遊性・滞在性向上事業

(1) サイクルフレンドリー事業

○事業概要及び成果等

「サイクリングリゾート伊豆」ブランドの定着に向け、サイクリングイベント開催を活用した観光PR等により、伊豆の魅力为全国に発信するとともに、伊豆半島内の関係者に対し、計画推進の意義や効果、地域資源の魅力の再発見等の浸透を図っている。

○事業実施状況

①サイクリングリゾート伊豆基本計画推進事業、サイクリングPR事業

SNSを活用した「サイクリングリゾート伊豆ブランド」の全国への情報発信を実施している。サイクリスト向けのtwitterと観光の移動手段としてのPRとしてInstagramと用途を分けている。

フォロワー twitter : 1,107人 Instagram : 240人

②伊豆半島一周サイクリングの開催

- ・「伊豆いち」は、7回目の当該イベントであったが、昨年度からサイクリングアプリを利用した期間型イベントへの転換を図っている。
- ・全国のサイクリストに有名な「ツール・ド・ニッポン」シリーズを展開するルーツ・スポーツ・ジャパンと共催することで、全国のサイクリストへの効果的な発信を継続的に行った。
- ・「伊豆いち」は難易度が高いと言われているため、今年度からサイクリストのレベルに合わせたショート 60km、メイン 150km、ロング 240km 3つのコースを設定した。なお、新型コロナウイルス蔓延により、予定していた「1dayイベント」は開催を見送った。

事業名	概要
サイクルボール 伊豆半島一周サイクリング	(一社) ルーツ・スポーツ・ジャパンの開催する期間型イベント「サイクルボール SeasonⅡ」の中の一つのステージとして「伊豆いち」を開催。 内容：サイクリングアプリ「ツール・ド」を使って日本中にある10個の1周コースの制覇を目指す 期間：令和3年6月1日(火)～令和4年1月31日(月) 主催：一般社団法人ルーツ・スポーツ・ジャパン 共催：(一社) 淡路島観光協会、茨城県かすみがうら市、御殿場市スポーツタウン推進連絡会、福島市相馬市二本松市伊達市観光圏協議会、(一社) 石巻圏観光推進機構、(一社) 美しい伊豆創造センター、狩野川周辺サイクル事業推進協議会、阿蘇サイクルツーリズム学校「コギダス」協議会、和歌山県由良町 協力：新潟県佐渡市 参加者：299名 アンケートによる平均消費額：11,421円

事業名	概要
サイクルボール 関連動画	サイクルボール seasonⅡのプロモーションとして、YouTuber「けんたさん」が「伊豆いちロング」に挑戦する動画の撮影を行った。 1泊2日で伊豆いちロングコースを走る40分の動画を作成し、「けんたさん」のチャンネルで公開(6/11)したところ、5/6時点で、18万回以上の再生回数となっている。
伊豆いち ～サイクルボール獲得を目指せ～	「サイクルボール～日本7大1周制覇の旅～」の特別イベントとしてスルガ銀行と共同で、伊豆いち完走を目指すコナステイ発着の2泊3日ライドを2回開催した。 <参加者> 第1回 10/15-17 フリーライド：2名 第2回 11/3-5 グループライド：9名 フリーライド：12名
伊豆半島サイクルラリー	大河ドラマ館をスタート地点として、伊豆半島内の大河ドラマゆかりの地をめぐるサイクリングコースを作成し、1月15日～3月15日まではイベントとして実施し、完走者には大河ドラマの公式ロゴをいれたサコッシュをプレゼントした。 参加者：185人

③スルガ銀行と協力した自転車を活用した地域活性化事業

- ・スルガ銀行との自転車を活用した地域活性化事業として、今年度は「伊豆いち～サイクルボール獲得を目指せ～」事業を展開した。
- ・スルガ銀行サイクリングプロジェクトのWEBサイトにおいて、サイクリングエリアとしての伊豆の魅力のPR等、連携して事業を実施している。

(2) 静岡県連携事業

○事業概要及び成果等

静岡県と連携し、伊豆半島「Pokémon GO」ARフォトコンテストを実施した。

○事業実施状況

事業名	概要
伊豆半島ポケモンプロジェクト	静岡県が行う「伊豆半島ポケモンプロジェクト」に参加し、伊豆半島「Pokémon GO」ARフォトコンテストの入賞者選考業務を実施した。(10/18～12/31) 応募総数 1842件 (Twitter 997件、Instagram 845件)

○評価・改善

(評価)

- ・サイクリストに対して伊豆をPRすることに関しては一定の成果を得ることが出来た。コロナ禍においても楽しめる趣味としてサイクリングを始められる方が増えてきていることもあり、サイクリングコースとしての伊豆半島を今後もPRしていく価値がある。

- ・伊豆半島ポケモンプロジェクトについては、伊豆半島「Pokémon GO」ARフォトコンテストに約1800件の応募があり、入賞者に対しては伊豆半島の産品等を賞品として提供するなどの取組により、一定の誘客効果を得た。

(改善)

- ・サイクリストに対しての認知度が高まっている反面、観光の移動手段としてのレンタルバイクやサイクルツーリズムの実践という点に関しては、まだまだ発展の余地がある。
- ・今後更なるプロモーションやツアー商品の造成、モニターツアーの実施が必要と考える。また、景観等のコースとしての魅力がサイクリストに周知されてきている中で、地域の特産やグルメの情報を一層発信し、地域での消費を喚起し、来訪するサイクリストと地域の相互理解と共存共栄を図っていく。
- ・ポケモンプロジェクトについては、令和4年度は、全県下を対象とした事業を県が実施することとなっており、より効果的な事業としていく。

7. 地域ブランド化事業

○事業概要及び成果等

昨年度に引き続き、大型ショッピングモールでの観光物産展事業、伊豆の自慢プリン事業の推進により、伊豆半島の食資源の魅力と観光情報をPRした。

○事業実施状況

①伊豆半島食コンテンツ強化事業（IJP～伊豆の自慢プリン～事業）

- ・伊豆の自慢プリンの情報発信のため、特にF1層に注目されるビューティージャパン東海大会と連携した広報やWEBサイトへの掲載を実施した。
- ・伊豆全体の周遊促進を図るため、アプリ「楽天チェック」と連携して、伊豆半島プリン巡りキャンペーンを実施した。
- ・新たな試みとして、ららぽーと沼津にて伊豆の自慢プリン販売会を実施した。

事業名	概要
「IJP～伊豆の自慢プリン～」	「今こそ！しずおか！！元気旅！！」における南伊豆町イベント「南伊豆大秘境」の特集ページにおいて、南伊豆のプリン店舗と共に「伊豆の自慢プリン」の情報を掲載(6/9)。 静岡県による国土交通省委託事業の半島地域特設サイト「半島は日本の台所」に、伊豆地域の魅力として「伊豆の自慢プリン」情報を掲載(7/22)。
ビューティージャパン東海大会連携 (静岡グランシップ)	ビューティージャパン東海大会の開催にあたり、公式カタログにA4広告を掲載のうえ、出場者へのプリン提供による情報拡散した。 ビューティージャパン東海大会の当日には、大会に来場したF1層をメインターゲットに、情報発信ブースを設置し、「伊豆の自慢プリン」パンフレットの配布を実施した。(8/8)

事業名	概要
伊豆半島プリン巡り キャンペーン (伊豆半島13市町)	<p>アプリ「楽天チェック」と連携して、伊豆の自慢プリンカタログ掲載のプリン店を巡る、伊豆半島プリン巡りキャンペーンを実施。</p> <p>国内最大規模を誇る楽天会員に対し、来店ポイントの付与を契機として、新たな顧客の獲得及び伊豆半島の周遊促進を図る。 (11/1~12/5)</p>
伊豆の自慢プリン大 販売会 in ららぽー と沼津 (ららぽーと沼津)	<p>伊豆の自慢プリンカタログ掲載店舗による、伊豆の自慢プリン大販売会をららぽーと沼津にてを実施した。</p> <p>伊豆半島の周遊促進及び伊豆の自慢プリンの周知を図る。</p> <p>グランマ(沼津市)、沼津深海プリン工房(沼津市)、ロイヤル洋菓子店(三島市)、伊豆高原プリン(伊東市)、修善寺プリン工房(伊豆市)、九-いちじく-(伊豆の国市)の6店舗が出店した。(11/3)</p> <p>観光物産展の開催と同時に、テナント旅行代理店(JTB ららぽーと沼津店)店舗にて、伊豆旅行の販売促進施策(伊豆の自慢プリン店舗で使えるプリン引換券の購入特典)を実施した。 (11/3~1/31)</p>

②食資源による魅力発信事業（大型ショッピングモール観光物産展事業）

今年度は、中部横断自動車道の全線開通による、山梨県、長野県等からの新たな観光市場の獲得のため、イオンモール甲府昭和にて観光物産展を開催した。

事業名	概要
伊豆半島うまいもん 市～祝・中部横断自 動車道開通記念フェ ア～	<p>本年8月の中部横断自動車道が全線開通したことにより、山梨県・長野県等からの静岡へのアクセスが向上し、伊豆への観光客の流入拡大が見込まれる。</p> <p>その新たな観光市場の獲得のため、山梨県最大級の大型ショッピングモール、イオンモール甲府昭和にて観光物産展を実施し、伊豆の製品の販売及び観光情報の発信を行った。</p> <p>伊豆急コミュニティー(伊東市)、伊東アンテナショップ Nukumall(伊東市)、甘味しるこや悠遊庵(東伊豆町)、いずもん(函南町、オラッチェ、山本食品、道の駅ゲートウェイ函南)の4事業者が出店した。(11/12~11/13)</p> <p>観光物産展の開催と同時に、テナント旅行代理店(JTBイオンモール甲府昭和店)店舗にて、伊豆旅行の販売促進施策(伊豆の自慢プリン店舗で使えるプリン引換券の購入特典)を実施した。 (11/12~1/31)</p>

○評価・改善

(評価)

- ・伊豆の食のブランド化を目指すにあたり、コロナ禍においてもプリンの販売会や物産展の開催を実施し、現地の旅行会社と連携することで伊豆半島への誘客と併せてPRをすることができた。

(改善)

- ・実施した販売会が単発のものに留まり、継続性や発展性が伴わなかった。
- ・ブランド化を推進するにあたり、集客力のある施設やイベント会場等で計画的に伊豆の物産展を開催していく必要がある。また、イベント開催地の会場で来客のニーズにあった商品やキャンペーンを展開しアプローチすることで、伊豆に対する興味を持つきっかけづくりが期待できるため、ターゲットに沿ったプロモーションを念頭に取り組んでいく。

8. その他連携事業の実施

○事業概要及び成果等

観光地域づくり法人として、様々な団体と事業連携を行った。

① 伊豆半島道路ネットワーク会議

伊豆縦貫道と国道、幹線市町道を含む地域全体のあるべき姿を検討し、短期・中長期を見据えた実施計画を策定することを目的としている。

本年度は、国・県・市町と協力し、プロジェクトマップの更新を実施している。

② 日本風景街道「なごみの伊豆 なごみの道」推進会議

伊豆半島全域を対象とする日本風景街道「なごみの伊豆 なごみの道」について、国交通省河川国道事務所等と連携し、伊豆の道が住民や訪れる人にとって“なごみの道”になるよう、周遊の道の魅力づくりなどに取り組んでいく。

③ 環駿河湾観光交流活性化協議会

環駿河湾観光交流活性化協議会に負担金を支出し、各種事業を展開している。

④ その他の関係団体との連携

以下の関連団体に参加し、連携して事業を実施した。

- 静岡県大型観光キャンペーン推進協議会
- 静岡県大型観光キャンペーン推進協議会 伊豆地域会議
- 静岡県コンベンション推進協議会
- 静岡県東部地域コンベンションビューロー
- 伊豆地域インバウンド交通連絡協議会
- 駿豆線沿線地域活性化協議会

- 「昇龍道」連絡調整会議
- 伊豆の国市観光戦略会議
- 函南町農泊推進協議会
- 伊豆半島における観光型 Maas 実証実験実行委員会
- 伊豆交通圏タクシー準特定地域協議会
- 伊豆半島道路ネットワーク会議
- 伊豆道の駅ネットワーク協議会
- 伊豆半島景観協議会
- ふじのくにに住みかえる推進本部
- 賀茂地域ふれあい事業推進協議会
- 静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合
- 東京オリンピック・パラリンピック自転車競技静岡県開催推進委員会
- 太平洋岸自転車道推進静岡地区協議会
- 静岡県サイクルスポーツの聖地創造会議
- 狩野川周辺サイクル事業推進協議会
- 静岡県東部スポーツ産業振興協議会
- 美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生県民会議東部地域会議
- 美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生県民会議伊豆半島地域会議
- IZU CHALLENGER AWARD 実行委員会
- 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」ゆかりの地 伊豆・富士山周遊促進連絡協議会
- 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」伊豆の国市推進協議会
- 賀茂キャンパス活用推進委員会
- 伊豆半島涉外活躍のまちづくり推進協議会
- ジャパン・マウンテンバイク・カップ実行委員会
- 伊豆の国市狩野川利用調整協議会
- 伊豆地域インバウンド交通連絡協議会
- ポケモンGO 連携プロジェクト実行委員会

II 庶務の概要

1. 会員に関する事項 (令和4年3月31日現在)

(1) 会員の異動数

区分	会 員 数		増減
	令和3年3月31日現在	令和4年3月31日現在	
正 会 員	89	92	3
賛 助 会 員	23	23	0
協 力 会 員	3	3	0
合 計	115	118	3

2. 役員等に関する事項 (令和4年3月31日現在)

(1) 理事・監事

役 職	氏 名	分 属
会長(代表理事)	豊岡 武士	三島市長
副会長(理事)	菊地 豊	伊豆市長
副会長(理事)	小林 秀樹	伊豆急ホールディングス株式会社取締役社長 社長執行役員
理事	頼重 秀一	沼津市長
理事	齊藤 栄	熱海市長
理事	小野 達也	伊東市長
理事	松木 正一郎	下田市長
理事	山下 正行	伊豆の国市長
理事	岸 重宏	河津町長
理事	岡部 克仁	南伊豆町長
理事	深澤 準弥	松崎町長
理事	星野 浄晋	西伊豆町長
理事	仁科 喜世志	函南町長
理事	伍堂 文康	伊豆箱根鉄道株式会社代表取締役社長
理事	金野 祥治	東海自動車株式会社代表取締役社長
理事	植松 和男	(一社) 法人美しい伊豆創造センター専務理事
理事	林田 充	(一社) 法人美しい伊豆創造センター常務理事
監事	稲田 精治	(一社) 三島市観光協会会長
監事	田中 豊	下田商工会議所会頭

附属明細書

特に記載すべき重要な事項はありません。